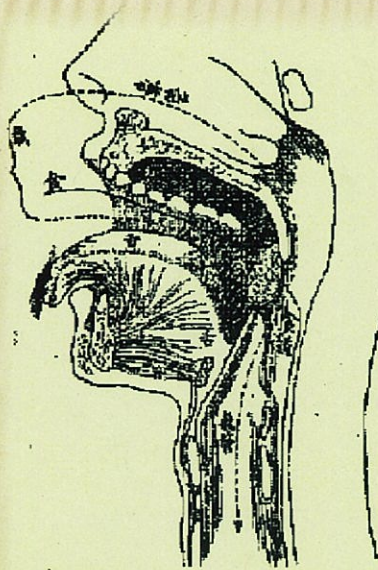


特別展示

保齒新論



保齒新論は、明治時代に珍重されたわが国最初の歯科専門書です。歯牙解剖から食物栄養論、鉄漿(歯黒)論まで、口腔衛生の重要性を示した書物です。この機会にぜひご覧ください。



口腔關係之圖

第二十錢漿論
 齒牙之保護ニ於ケル上文已ニ詳述
 附シテ、齒牙ノ最大兇敵タル酸類
 結ハントス、抑、酸類ノ強猛ナクテ
 ニナラス、金銀、鐵石皆之ヲ分於溶解
 質ニ於テハ、好テ之ト親和シテ、其
 物ノ結構ハ、百般ノ害物ニ接觸シ
 之、以テ其毒勢ヲ逞クセザラン、
 ント思フ時ハ、口内已ニ津唾ヲ分泌
 入レハ、垂夜益、勇出シテ、之ヲ中

口及ヒ胃管ヲ
 通セル線ハ、飲
 食物ノ行路ヲ
 示シ、口鼻及ヒ
 氣管ヲ通セル
 點線ハ、大氣ノ
 行路ヲ示ス

矢巾キャンパス図書館